

令和 2 年 度 事 業 報 告

1. 総会及び理事会等会議の開催

種 別	期 日	会 場	出席者数	決 議 事 項 等
監 事 会	2. 4. 22	ハム・ソーセージ 会 館	監事 4 名 本人出席 1 名 書面決議 3 名	・ 令和元年度収支決算に関する事項
理 事 会	2. 4. 28	同 上	理事 書面決議 18 名 監事 書面確認 4 名	・ 令和元年度事業報告(案)及び収支決算(案)について ・ 定款変更について ・ 役員を選任について ・ 第 1 7 回定時社員総会提出議案について
理 事 会	2. 5. 27	同 上	理事 書面決議 18 名 監事 書面確認 4 名	・ 厚生労働省登録検査機関における業務責任者の変更について ・ 委員会委員の委嘱について
第 1 7 回定時 社 員 総 会	同 上	同 上	出席理事 3 名 書面決議 67 名	①令和元年度事業報告の件 ②令和元年度決算報告書承認の件 ③定款改正の件 ④令和 2 年度事業計画報告の件 ⑤令和 2 年度収支予算報告の件 ⑥入社基準決定の件 ⑦令和 2 年度会費及び徴収方法決定の件 ⑧令和 2 年度加入金決定の件 ⑨令和 2 年度借入金最高限度決定の件 ⑩常勤理事報酬最高限度決定の件
役付役員互選 理 事 会	同 上	同 上	理事 書面決議 18 名 監事 書面確認 4 名	・ 役付役員互選について
理 事 会	2. 9. 30	同 上	理事 書面決議 18 名 監事 書面確認 4 名	・ J A S 認証業務評価委員及び登録検査機関業務評価委員委嘱について ・ 社員の加入について
理 事 会	3. 1. 27	同 上	理事 書面決議 18 名 監事 書面確認 4 名	・ 令和 3 年 4 団体総会の開催について ・ 就業規則の一部改正について
理 事 会	3. 3. 24	同 上	理事 書面決議 18 名 監事 書面確認 4 名	・ 令和 3 年度事業計画(案)及び収支予算について

J A S 認 証 業 務 評 価 委 員 会	3. 3. 10	ハム・ソーセージ 会 館	委員 4名	・本研究所の審査、認証及び意思決定プロセスの公平性について ・公平性のリスク分析の結果に対する評価
登録検査機関検査 業務評価委員会	同 上	同 上	同 上	・厚生労働省登録検査機関に係る業務の信頼性確保について
ISO/IEC17025 認定試験所検査 業務評価委員会	同 上	同 上	同 上	・ISO/IEC17025認定試験所の検査業務について

## 2. 事業に関する事項

(1) 令和2年5月27日ハム・ソーセージ会館で開催の第17回定時社員総会で、任期満了に伴う役員改選の結果、次のとおり理事18名、監事4名が選任された。

理 事： 石 野 克 彦（新任）、猪 口 由 美（再任）、大 野 高 志（新任）、  
川 島 俊 郎（新任）、菊 地 令（再任）、菊 池 英 夫（再任）、  
百 濟 徳 男（新任）、小 林 和 人（新任）、塩 島 勉（再任）、  
柴 山 育 朗（新任）、関 川 和 孝（新任）、竹 田 清（再任）、  
千 葉 尚 登（新任）、南 波 利 昭（再任）、根 岸 晴 夫（再任）、  
姫 田 尚（再任）、堀 内 朗 久（新任）、松 井 陽 樹（再任）、  
監 事： 小 田 木 毅（再任）、金 澤 俊 司（新任）、福 島 保 訓（新任）、  
宮 島 成 郎（再任）、

次に役付役員の互選が行われた結果、次のとおり理事長1名、専務理事1名、代表監事1名が選任された。

理 事 長 ： 川 島 俊 郎（新任）  
専 務 理 事 ： 猪 口 由 美（再任）  
代 表 監 事 ： 福 島 保 訓（新任）

(2) 令和2年7月2日、役員の変更登記を完了した。

(3) 令和2年7月28日に厚生労働省関東信越厚生局による登録検査機関の定期監査が行われた。軽微な指摘を受けたが、9月2日付で厚生局に改善措置を報告し了承された。

(4) 令和2年11月17日にISO17025審査登録機関であるペリジョンソフコラボラトリー アクティベーション インク (PJLA) による認定証更新審査を受け内容が適切であると認められた。

(5) 令和2年12月3日、4日に、(独法)農林水産消費安全技術センター (FAMIC) によるJAS法に基づくJAS登録認証機関としての事業所調査及び製品検査施設調査を受けた。不適合は無く、登録認証機関としての体制が維持、運用されていると判定された。

(6) JRA事業「海外・国産豚肉肉質評価等推進事業」（令和元年度～2年度）に基づき、海外産豚肉と国産豚肉の理化学分析、物理的性状分析及び官能検査を実施するとともに、推進委員会を2回（6月、3月）書面にて開催した。

(7) 日本ハム・ソーセージ工業協同組合の「小規模生産体制強化事業」（2か年事業）の実施に当たり、HACCPについて技術指導を希望する小規模事業者に指導員を派遣して指導・助言を行い協力した。

- (8) 日本ハム・ソーセージ工業協同組合と業務委託契約を結び、「海外食肉加工品の品質評価事業」(栄養成分、物性検査、官能検査等)を行った。
- (9) (公社)日本食肉協議会の助成を受け「国産無塩せき食肉加工品生産実態調査事業」を実施した。
- (10) 食肉の科学的特性等を解説する「原料肉に関する勉強会」を希望される企業8社に向けてオンラインにより開催した。
- (11) 適切な検査がなされているかを確認したい検査施設を対象に、大腸菌群、亜硝酸根等の検査項目ごとに一定量を含む標準試料を配付し、検査結果を回収して、統計処理した結果を各施設に通知する「精度管理のための技能評価試験」を6月と9月の2回実施した。
- (12) 農林水産省補助事業「証明書発行等を行う機関の体制整備及び輸出事業者支援事業」(事業主体：(公社)日本食品衛生協会)により、サルモネラ菌及びリステリア・モノサイトゲネスについてISO17025 認定を取得するための体制整備を行った。
- (13) (一社)国産生ハム普及協会からの委託により同協会会員が製造する生ハムについて一般成分分析、微生物分析、おいしさ評価及び施設環境検査を実施した。
- (14) 令和3年3月9日～12日の4日間、幕張メッセで開催された「2021 食肉産業展」に(一社)日本食肉加工協会、日本ハム・ソーセージ工業協同組合と共同で出展し、JAS 認証制度、食肉のおいしさ評価などを紹介した。
- (15) (一社)日本食肉加工協会及びハムソーセージ類公正取引協議会と協力し、若手社員を対象として、食品表示基準、食品衛生法、JAS 規格及びハム・ソーセージ類の表示に関する公正競争規約等についての表示勉強会を2回(11月、3月)開催した。
- (16) (一社)日本食肉加工協会主催の「初級食肉加工技術講習会」に技術協力した。
- (17) (一社)日本食肉加工協会主催の「HACCPシステムに基づく衛生管理講習会(食肉製品)」に技術協力した。

### 3. 社員に関する事項(令和3年3月31日現在)

期 別	社 員 種 類					総 計
	正 社 員	正社員甲	正社員乙	正社員丙	賛助社員	
前期末現在	78	2	0	0	2	82
今 期 入 社	2	0	0	0	0	2
今 期 退 社	1	0	0	0	0	1
今期末現在	79	2	0	0	2	83

- (注) 正 社 員：(一社)日本食肉加工協会及びその会員  
 正社員甲：食肉製品製造を事業とする者  
 正社員乙：食肉製品製造を事業の一部として経営する者  
 正社員丙：食肉加工を事業とする者  
 賛助社員：食肉加工あるいは食肉製品製造の業に関連する事業を行なう者

### 4. 事業の概要

#### (1) JASに関する業務

ア) 令和2年度におけるJAS格付状況

区 分	格 付 数 量	対前年度比
ベーコン類、ハム類、プレスハム及びソーセージ	136,604トン	6.8%増
熟成ハム類、熟成ソーセージ類及び熟成ベーコン類	27,247トン	2.4%増
ハンバーガーパティ	31,813トン	12.6%増
チルドハンバーグステーキ	1,671トン	1.3%減
チルドミートボール	3.0トン	49.2%減

イ) JAS 認証工場数 (令和3年3月31日現在)

農林物資 期 別	ベーコン類等	熟成ハム類等	ハンバーガー パティ	チルドハンバーグ ステーキ	チルドミート ボール	合 計
令和元年度末	87*	58*	3	4*	1*	153
認 証	1	0	0	0	0	1
辞 退	2	1	0	0	0	3
令和2年度末	86*	57*	3	4*	1*	151

\*: 外国製造業者1を含む。

ウ) JAS規格に使用できる添加物リストについて、これまで「くん液」を使用できなかった特級ハム類等の規格に「くん液」を追加するよう令和3年2月1日付で業務規程を改定し、農林水産省に届出、受理された。

エ) JAS 認証工場は、令和2年度定期確認調査において、すべて適正であった。一部の工場については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施を延期した。また、当研究所が行うJAS認証工場定期確認調査の現場に、FAMICが立ち会う調査は、延べ4工場について実施され、不適合はなかった。

オ) JAS 証票を印刷できる登録印刷工場は、ベーコン類等117工場、熟成ハム類等80工場、ハンバーガーパティ、チルドハンバーグステーキ及びチルドミートボール30工場となった。

カ) 品質管理担当者等講習会の開催

区 分	期 日	会 場	受講者数
品質管理担当者講習会	令和2年10.8	オンライン講習会	42名
品質管理責任者等専門講習会	令和3年1.21~22	オンライン講習会	46名
格付検査担当者技能研修会	中止		

(2) 一般依頼検査等に関する業務

ア) 令和2年度に実施した一般依頼検査、輸入食品検査の件数は下記の通りであった。

区 分	一般依頼検査			輸入食品検査	合 計
	理化学検査	細菌学検査	その他検査		
件 数	9,691件	7,503件	479件	5,737件	23,410件

イ) 各検査項目の精確かつ効率的な検査方法の開発に努めるとともに、内部精度管理、内部点検を実施し信頼性確保に努めた。また、外部精度管理調査については、国内外の機関が行う調査に引続き参加し、検査精度の向上に努めた。

## 附 属 明 細 書

令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。